

住設機器 供給機器

LPGで燃料費約15%減

容器配送を想定し3トントラック選定



経済性、環境性、実用性を兼ね備えた「DDFトラック」

エフ・ケイメカニク（大分市、吉川克己社長）はこのほど、ディーゼルエンジンにLPGガスを添加することで、軽油の消費量を減らし燃料費の削減につなげる「DDF（ディーゼルデュアルフューエル）トラック」を開発。現在、販売の受付を実施している。

同社によると、DDF車両の一般市場販売は、日本で初めて。

今回、登場したDDFトラックの最大の特長は、燃料費を約15%削減

する経済性だ。さらに、有害排ガス物質を低減するため、環境性にも優れているほか、ガス切れ時でも軽油のみで走行できるため実用性も高い。

DDFシステムは、軽



油とLPGガスを混合して燃焼させるシステムで、電子制御によって常に最適な混合比率で運行。ヨーロッパでは大型トラック等に使用されている技術だ。

LPG車、CNG車の普及しているヨーロッパでは、約20年前から実用されており、効果が実証されたシステム。同社では、製品の輸入はもとより、現地メーカーにおいて技術を習得し、最新の日本の車両に合わせた装置の取り付け設定を行っている。

同社におけるDDF車の開発は、平成25年からマツダのCX-5において実施しており、その実績も十分だ。

トラック下部に取り付けられたLPG容器部

今回のベース車両には、LPGガ事業者が容器配送車として多く利用している3トントラックのパワーゲート付を選定。LPGガ容器搬送車両用荷台架装を想定した。

ディーゼル同等以上の加速実現

気になるエンジン出力についても、ディーゼルエンジンと同等。常用回転域のトルクが上がっているため、体感的にはディーゼルと同等以上の加速を実現している。容器を満載しても、従来のLPG専車にあつたような力不足はないことも大きな特長だ。

DDF架装価格は、86万円（消費税別）

【車両スペック】日野DUTRO（デュトロ）「TKG-XZU60」標準幅キャブ、高積載量3トントラック（4トントラック）を選定した。

今後注目される、同社におけるDDF車両開発としては、今回の3トントラックのユーザーからの声やデータを収集することにより、来年には中型トラック（4トントラック）を開発する予定だ。

万4000円（消費税込み）

車両本体のメンテナンスや保証修理対応をスムーズに行えるように、LPG架装、荷台架装も含めて車両本体一式として販売する予定。

なお、初期注文30台に限り、25万円の特別値引き（初期導入キャンペーン）を実施する。

カナデンブレイン

エフ・ケイメカニク

DDFトラック発売

売上管理業務を改善

インフォマート製基盤と連携



①電子化前の取引先には紙請求書の送付も可能（オプション）

②電子化前の取引先には紙請求書の送付も可能（オプション）

③電子化前の取引先には紙請求書の送付も可能（オプション）

④電子化前の取引先には紙請求書の送付も可能（オプション）

⑤電子化前の取引先には紙請求書の送付も可能（オプション）

⑥電子化前の取引先には紙請求書の送付も可能（オプション）

⑦電子化前の取引先には紙請求書の送付も可能（オプション）

⑧電子化前の取引先には紙請求書の送付も可能（オプション）

⑨電子化前の取引先には紙請求書の送付も可能（オプション）

⑩電子化前の取引先には紙請求書の送付も可能（オプション）

新コスモス電機 中計16〜18年を策定 最終年度売上高285億円以上

新コスモス電機（大阪府、重盛徹社長）は、これにより経理業務での請求書発行業務のコスト削減、ミス撲滅、スピードアップが実現する。今後はWeb上のプロ

子請求する事が可能。これにより経理業務での請求書発行業務のコスト削減、ミス撲滅、スピードアップが実現する。今後はWeb上のプロ

グループ化に伴い、新たに「センシング技術とサービスで世界中の安全・安心・快適な環境創りに挑戦する」ことをグループの使命とし、重点課題として①センサの研究

て取り組む。なかでも①では警報器のコア技術ガスセンサの強化、2014年にセンサの中核施設「スセンサセンター」